



元 町

札幌市立元町中学校
学校だより 第11号
令和2年 10月20日(火)
発行

後期生徒会認証式が行われました

【現生徒会長退任の挨拶】

印南 圭乃

私がこの1年間の活動を通じて思ったことは、正直まだまだやりたいことがたくさんあったなという思いです。今年は例年通りに行えない行事がいくつもありました。そのため今後の活動をどうするか臨機応変に対応することが求められ、例年と違う活動に戸惑うことも多かったですが、その経験もあり、昨年の自分より成長できたと感じています。まだ任期は残っているので学校祭まで新しいメンバーとともに精一杯頑張っていきます。また、今まで生徒会活動に対して、全校生徒の皆さんはもちろん、多くの先生方のご支援、本当にありがとうございました。これからもご協力お願いします。

新しく会長になった志村くんは臨機応変に対応できる人なので、今後の生徒会活動がより良いものになるよう尽力してくれると思います。また新しい役員になった皆さんはとても意欲に溢れているので、元町中の伝統を引き継ぎ、更に良くしていくと期待しています。

代表や議長などの委員になった皆さんはクラスの雰囲気を良くし、活動を活発にしてくれることと思います。

最後になりますが、学校はみんなで良くしていくものです。1・2年生の皆さんは自分の学校をより過ごしやすいものに自分たちの手で変えていってください。私たち3年生は卒業するまで新しい生徒会・委員会活動を見守っていきたいと思います。

今まで本当にありがとうございました。

【新生徒会長の挨拶】

志村 陽向

先輩方が発展させてきた「あったかい学校プロジェクト」の更なる発展を目指すとともに、みんなが気持ちよく過ごせる学校の雰囲気づくりのために率先して活動していきます。また、生活常任委員長と協力し、挨拶や3分前着席の改善などの呼びかけをしていこうと考えています。

先輩方がつないできた元町中の伝統を私たちがしっかりと受け継ぎ、また次の世代へつなげていけるよう、責任をもって精一杯活動していきますのでよろしくお願いします。

後期委員代表のこたば



2年3組 佐藤 蘭世

【学級代表】

私は学級代表として2つのことに対して力を入れていきたいと考えています。

1つ目は呼びかけです。前期を振り返ってみると、呼びかけはしていたものの、全体に届いていなかったりと、あまり良くない状態でした。それに前期の後半には気づいているけれど自ら呼びかけをせず、他の委員にやらせていたりと少しだらしない目立っていました。そんな反省を生かし、後期は積極的にみんなに伝わる呼びかけをしていこうと思います。代表や委員のメンバーだけでなく、クラスのみんなが呼びかける。そんな素敵な学級にしていきたいです。

2つ目は思い出づくりです。今年はコロナによってさまざまな行事や仲間たちとの楽しい生活を奪われてしまいました。そんな中で少しずつですが、行事が増えてきています。そのわずかな行事で、残りの時間をみんなにとって最高の思い出にしたいと思っています。そのために代表ができることをしていこうと考えています。例えば、みんなの安全を第一に、なるべく楽しめる学年レクを企画することや、前期に学年として取り組んだ「自己管理能力」の課題を改善できるようにつくった掲示物を更にレベルアップするなど小さなことでもみんなの思い出づくりの支えになれるよう企画を出していきたいと思っています。

私は前期の反省を生かし、新たなメンバーとともに更にレベルアップした2学年をつくり上げていきたいと思っています。

【議長】

2年2組 杉田 一樹

学級議長の仕事は、クラスの皆さんの学校生活が少しでも良くなるように、学級代表と協力してクラスを支えることだと僕は考えています。クラスの話合いでは議長として皆さんの意見をまとめ、話合いがより意味のあるものになるように導いていきます。また、学級議長は様々な活動を企画する仕事もあるため、クラスだけでなく、学年全体、そして学校全体としても皆さんのために頑張りたいです。ただ、もちろん学級議長だけが頑張れば良いというものではありませんので、皆さん一人一人も学級について考えより良い行動をとるよう協力してください。コロナウイルスで中止になった行事もあり大変ですが皆さん一緒に楽しい学校生活をつくっていきましょう。私たち学級議長も責任感をもって全力で頑張っていきます。半年間よろしくお願いします。

【生活常任委員】

2年1組 小林 剛輝

僕は後期の任期の中で力を入れ取り組んでいきたいことがあります。それは、3分前着席の徹底です。夏休み前に行った2学年での3分前着席点検では学年全体で3分前着席の意識が高まりましたが、夏休みが明けると、3分前着席の意識が薄れていき、守らない人が増えていきました。そこで必要な存在が生活委員だと僕は考えます。僕は前期、精一杯3分前着席の呼びかけができていなかったのも、後期は積極的に呼びかけをしようと思います。全校の見本のような学級、学年へと導いていけるよう、委員全員で協力し合っていきたいです。約半年の間ですが一生懸命頑張っていきますのでよろしくお願いします。

【文化常任委員】

2年4組 塩浦 愛

私は1年生の時から文化常任委員をやって学んだことがたくさんあります。その中の1つが責任です。正直に言うと文化常任委員になる前はたまに「忘れないぞう」を書かないことがありました。けれど委員になって、自分が点検したり、注意したりする側になったので、まずは自分が書かないと人に言えないと思い、書くようになりました。次第に書くことが癖になって自然と手が「忘れないぞう」に伸びていました。昔の私は責任のある仕事には少し抵抗があったけど、今はやりたいと思うようになりました。皆さんも「忘れないぞう」を書く習慣をつけましょう。

私は引き続き文化常任委員として今まで学んだことを生かしながらかつと新しいことを学び、責任をもてる文化常任委員になります。

【保体常任委員】

2年5組 浅妻 幸乃

私は前期も保体常任委員を務めて、ボランティア清掃に一番やりがいを感じ、参加してくれた人からも好評だったため、後期は特にボランティア活動に力を入れたいと思います。後期のボランティア活動は前期できなかったものを行いたいと考えています。多くの人に興味をもってもらえるよう、事前の広報を工夫するなどして、自主的に参加してくる人が増え、楽しんでもらえるようなボランティア活動にしたいです。また、新たな活動も考え、実行していけたら良いと思います。それに加え、ハンカチ点検も力を入れたいです。前期最後に行ったハンカチ点検では、結果の良いクラスも、悪いクラスもあり、差があったので、更に呼びかけを強化し、忘れを少なくしていけたら良いと思います。

これらのことをすべて実行できるよう頑張っていくので皆さん協力よろしくお願いします。

【校長先生からのお話】

今、生徒会役員、後期学級委員に認証書を手渡しました。いよいよ、新しい生徒会活動の始まりです。これまでの先輩方が作り上げてきた元町中学校の伝統の上にさらに良い伝統を積み上げてください。

元町中の「顔」である3年生の皆さん、生徒会活動の最前線からは退きますが、後輩をしっかりと後方から支え、たくさんの想いを伝え、卒業までの5か月の中で、最高学年としてさすが先輩！と思われるカッコいい姿を1、2年生の心の中に残して行ってください。

元町中のしっかりとした「胴体」として順調に成長してきた2年生は、3年生がいる間にしっかりと準備をし、いよいよ最高学年としての気構えを作り上げてください。

元町中の「手足」である1年生は、この半年わからないことも多く戸惑ったこともあったかもしれませんが、その手の中には貴重な経験をつかんでいるはずです。来年4月には、君たちは先輩です。元町中の生徒として成長したところを見せてください。

そして、準備を進めてくれた生徒会役員の皆さん。短い期間で忙しかったと思います、本当にご苦労様でした。

さて、全校生徒の皆さんコロナ禍の中で来校する方は少ないのですが、地域の方や来校する高校の先生や様々なお客様に、「元町中学校の生徒さん、いいですね」と言われます。この言葉が私にとっても一番うれしいです。

立ち振る舞いや挨拶などの見た目は当然大事です。さらに心の在り方がマスクをしていても、態度や表情に出てきます。どんな仲間とも支え合いながら、思いやりをもって向上していってほしいです。

一方で「喧嘩をした」、「友達関係でトラブルが起きている」こんな話を聞くとほんとうに悲しくなります。一人一人の心の在り方で、そのようなことは起きないし、もし起きてもお互いの成長につながる解決ができるはずです。

これから寒くなりますが、みなさんの気持ちのもちようで、温かで信頼し合える仲間がいる、素晴らしい元町中学校にしていってください。期待しています。

